

令和8年度

医療専門職 支援人材

第①回 活用セミナー

医療専門職支援人材の確保・定着に向けて

「オンライン開催」
(ウェビナー)

参加費
無料

本セミナーについて

働き方改革の推進や医療の質の向上のため、医師・看護師等の医療専門職から看護補助者や医師事務作業補助者のような医療専門職支援人材（以下、支援人材）へのタスク・シフティングが重要とされています。

しかしながら、少子高齢化による人手不足等を背景に、必要な数の支援人材を確保することには課題があるのが現状です。

仮に確保できた場合でも、人材が定着しない、採用後の評価や育成をどうしたらよいのかわからない、また、採用

活動が常態化・マンネリ化してしまっている医療機関の管理者の方や現場責任者の方も多いのではないのでしょうか。そこで本セミナーでは支援人材の確保・定着に向けた取り組みやその背景について実際の事例を交えながらご紹介します。本セミナーにご参加いただき、医療機関の支援人材の確保・定着に向けた積極的な取り組みや、管理者としての支援人材に対する考え方を知ること、自院での今後の取り組みをより効果的なものとし、支援人材の定着に繋げていただければと存じます。

日時 2026. 9. 3 (木) 14:30～16:00

対象

- 病院長 ● 事務長 ● 看護部長
- 看護補助者・医師事務作業補助者の部門責任者
- 医療機関の採用責任者・担当者 ● 医療機関の人事責任者・担当者
- 都道府県 医療勤務環境改善支援センターの
医業経営アドバイザー及び医療労務管理アドバイザー 等

定員 900名(先着順)

申込締切 2026年8月31日(月) 12:00
※定数になり次第、受付終了いたします

参加申込みはこちら

<https://jinzai-seminar.mhlw.go.jp/>

セミナー申込▶



セミナー2回目について

2回目は以下のとおり予定しています(1時間30分を予定)。

前半 支援人材の確保・定着に係る事例紹介

後半 「私がやりがいを感じた瞬間」企画※

(看護補助者・医師事務作業補助者の体験談募集)の
表彰式および受賞作品の発表

※「私がやりがいを感じた瞬間」企画は以下からご応募ください。

応募締切: 10月5日(月)

<https://jinzai-seminar.mhlw.go.jp/yarigaishunkan/>

「私がやりがいを感じた瞬間」応募▶



令和8年度

医療専門職支援人材 第①回 活用セミナー

医療専門職支援人材の確保・定着に向けて

プログラム

① 開会挨拶

5分

厚生労働省 医療専門職支援人材確保・定着支援事業 企画検討委員会 委員長 藤岡 丞 様
(医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 院長)

② 看護補助者の確保・定着にかかる事例紹介

20分

看護補助者の採用・育成・働きやすさ向上に取り組んだ2年間の歩み

高齢患者の増加や身体的拘束最小化の要請により、より個別性の高いケアが求められる時代となり、看護師のサポートを担う看護補助者の確保と育成は一層重要になっています。

当院では2年前に、採用・評価・賃金・育成の仕組みを見直し、多様な人材を受け入れる体制を整えました。その結果、看護補助者数は着実に増加し、定着率も向上しました。現在は、20～70代の幅広い世代が在籍し、eラーニング受講方法やスマートフォン操作では若手職員が支援し、研修内容の理解や実践のポイントではベテラン職員が助言するなど、ICTと実務の双方で相互に支え合う姿が日常的に見られます。さらに、情報共有ツールの導入が働きやすさの改善につながり、スタッフ同士の連携も円滑になりました。

本講演では、時代の変化に応じた職場環境整備の取組みについて、その成果と課題を2年間の歩みとともに総括します。

講師：医療法人五星会 菊名記念病院 副看護部長 長谷川 紀子 様

③ 医師事務作業補助者の確保・定着にかかる事例紹介

20分

医師事務作業補助者の新人教育におけるOJTの限界と初期研修プログラム導入の取組みについて

当院の医療秘書科(医師事務作業補助部署)の内科外来チームでは、診察室2室に対し医師事務作業補助者1名を配置しています。内科外来は10診療科にまたがり、業務内容也多岐にわたることから、新入職員が習得すべき項目が非常に多い状況です。

これまでは入職初日のオリエンテーション後にOJTを行っていましたが、業務の理解や定着に課題を抱えていました。そこで、3～5年目の職員を中心としたワーキンググループを立ち上げ、OJT開始前に新入職員が座学や実務(カルテの読み取り・電話対応等)を学べる約1週間の初期研修プログラムを作成・導入しました。あわせて、OJTで活用できるよう、実務担当者の視点からまとめた実践アドバイス集も作成しました。

本講演では、初期研修プログラム導入の経緯と内容、その成果および今後の課題について紹介します。

講師：国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 医療秘書科 課長 山田 真也 様

④ 質疑応答

10分

⑤ パネルディスカッション

30分

医療機関による医療専門職支援人材確保・定着の取組み

「医療機関による医療専門職支援人材確保・定着の取組み」をテーマとして、取組み事例の工夫した点や困難だった点、他の病院で展開するときの留意点などを看護補助者や医師事務作業補助者の確保と定着に積極的に取り組んでいる医療機関によりディスカッションいただきます。

ファシリテーター：厚生労働省 医療専門職支援人材確保・定着支援事業 企画検討委員会 委員長 藤岡 丞 様
(医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 院長)

パネリスト：医療法人五星会 菊名記念病院 副看護部長 長谷川 紀子 様
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 医療秘書科 課長 山田 真也 様

申込方法

申込専用サイトより、参加申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込みの締め切りは**2026年8月31日(月) 12:00**となります。本セミナーでは、**参加申込フォームにて事前に皆様からの質問を受け付けております。**なお、いただいた全ての質問にはお答えできない場合がございますのでご了承下さい。

申込受付後、本セミナーに参加するためのアクセス方法を、参加申込み時に登録されたメールアドレス宛にお送りしますのでご確認ください。

参加申込URL



<https://jinzai-seminar.mhlw.go.jp/>

ご不明点等は、下記の「お問合せ先」までご連絡願います。

※本セミナーではリモート会議アプリ「ZOOM」を使用します。

「ZOOM」の使用方法につきましては申込サイトにて詳しく記載しております。

※事務局業務は、有限責任監査法人トーマツが厚生労働省の委託を受けて実施しております。

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は事務局にて厳重に管理し、本事業以外での目的では使用いたしません。

お問い合わせ先

有限責任監査法人トーマツ

厚生労働省委託事業実施機関

医療専門職支援人材活用セミナー事務局

E-Mail

shienzinai_jimukyoku@tohmatu.co.jp